

(2015年度)

### 3 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は21ページ、4問である。)

#### 受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでいいねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

以下の文章を読んで、問(1～4)に答えなさい。

イタリア半島のティベル河畔に生まれた小さな都市国家ローマは、前1世紀後半にはヘレニズム諸国家のすべてを支配下に入れて、まさに地中海を「内海」とする帝国となった。<sup>(1)</sup>しかし、この過程で、前6世紀のおわり頃に成立した貴族主導の共和政は混乱状態に陥り、内乱の1世紀とカエサルの独裁・暗殺を経て、彼の相続人オクタウィアヌスのもとで新たな政治体制、すなわち元首政へと移行した。<sup>(2)</sup><sup>(3)</sup><sup>(4)</sup><sup>(5)</sup><sup>(6)</sup>

オクタウィアヌスは、のちにアウグストゥスと呼ばれた。ローマ皇帝の誕生である。<sup>(7)</sup>

以来、皇帝位につく家系は交代したが、ローマ皇帝そのものは帝国西部においては5世紀後半の西ローマ帝国滅亡まで君臨し続けた。さらに、帝国東部ではローマ皇帝は15世紀まで存続し、皇帝位が一旦断絶した西部でも、カール大帝やオットー1世が復活させている。<sup>(8)</sup>

<sup>(9)</sup>ローマ帝国の盛期、紀元1～2世紀には、今日のヨーロッパ連合(EU)に匹敵する広い空間が、この皇帝の下に統合された。<sup>(10)</sup>

ところで、紀元1世紀の諸皇帝については、タキトゥスの諸作品やスエトニウスの『ローマ皇帝伝』、そして彼らとほぼ同時代のギリシア人作家プルタルコスの伝記作品が貴重な情報を提供している。ところが97年に即位したいわゆる五賢帝最初のネルウァ以降の諸皇帝については、こうした歴史書や伝記に恵まれておらず、信憑性や情報量の点で劣る簡略な史書しか残っていない。<sup>(11)</sup><sup>(12)</sup><sup>(13)</sup>

その中でラテン語で書かれた『ヒストリア・アウグスタ』は、五賢帝から3世紀末のディオクレティアヌスの登位直前までの諸皇帝の伝記を収めた、大部な作品である。具体的には117年から284年までの約164年間を扱っていて、その唯一無比の存在のために、内容的に多々見受けられる疑問点にもかかわらず、広く利用されてきた。<sup>(14)</sup><sup>(15)</sup>

問1 下線部(1～10, 13～14)と時代ないし内容的にもっとも関係が薄い事項を, 各々の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a プトレマイオス朝    b ペルガモン王国    c シリア王国  
d グプタ朝
- (2) a 平民会    b パトリキ    c オストラコン    d ポエニ戦争
- (3) a ハンニバル    b マリウス    c スラ    d グラックス兄弟
- (4) a クラッスス    b アントニウス    c プロティノス  
d ブルートゥス
- (5) a ポリビオス    b ウェルギリウス    c リウィウス  
d オウィディウス
- (6) a プリンケプス    b 元老院    c テトラルキア  
d パックス＝ロマーナ
- (7) a プリニウス    b ウェルギリウス    c ホラティウス  
d オウィディウス
- (8) a 教皇レオ3世    b 教皇ヨハネス12世    c ピピン  
d アルクイン
- (9) a ザクセン家    b レヒフェルトの戦い    c 神聖ローマ帝国  
d カペー朝
- (10) a トルコ    b イギリス    c ポーランド    d ハンガリー
- (13) a ネロ    b トラヤヌス    c アントニヌス＝ピウス  
d マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス
- (14) a 軍管区制    b 四分統治    c ドミナトゥス  
d キリスト教迫害

問2 下線部(11)と(12)にもっとも関係があるものを, 選択肢(a～e)からそれぞれ1つ選びなさい。

- a 『ゲルマニア』    b 『ローマ建国史』(『ローマ史』)  
c 『ガリア戦記』    d 『対比列伝』(『英雄伝』)    e 『地理誌』

問3 下線部(15)の諸皇帝の中で、帝国内の全自由民にローマ市民権を与えたのは誰か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a マクシミアス                      b ウァレリアヌス      c カラカラ  
d デイオクレティアヌス      e テオドシウス

問4 以下の古代遺跡(1～4)に関して、問(①～②)に答えなさい。

- (1) ハドリアヌスの長城      (2) シャープール1世の対ローマ戦勝浮彫  
(3) セゴビアの水道橋      (4) ペルガモンの大祭壇

① 古代遺跡(1～4)に該当する写真を、5～6ページの図版の選択肢(a～h)から1つ選びなさい。

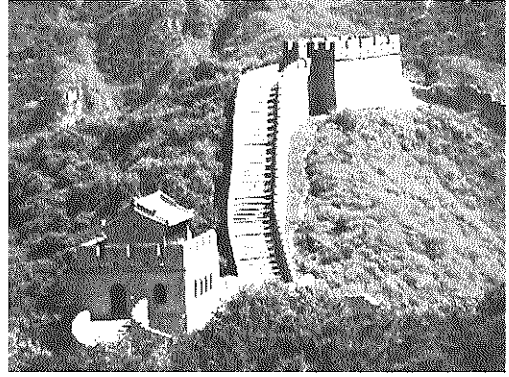
② 古代遺跡(1～3)が、現在のどの国に所属しているのか、6ページの語群の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

①の図版

a



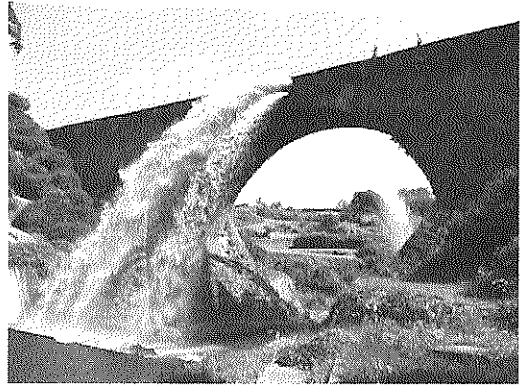
b



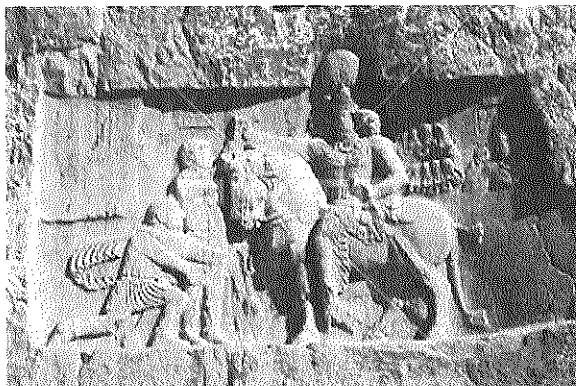
c



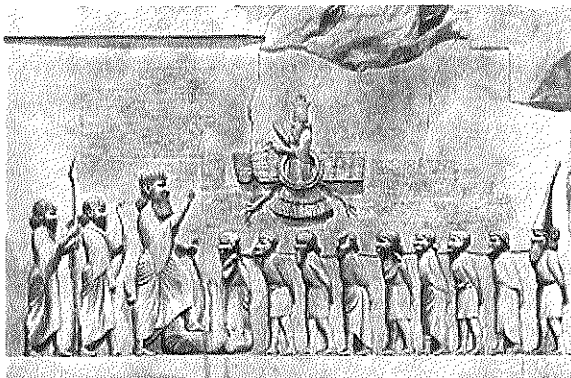
d



e



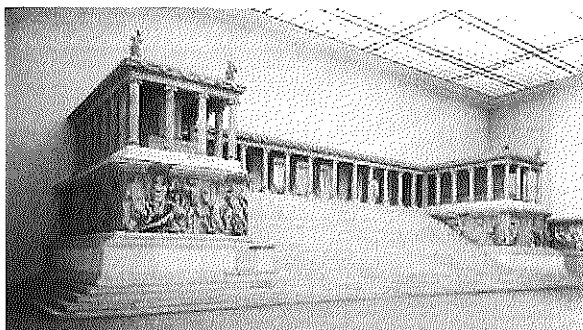
f



g



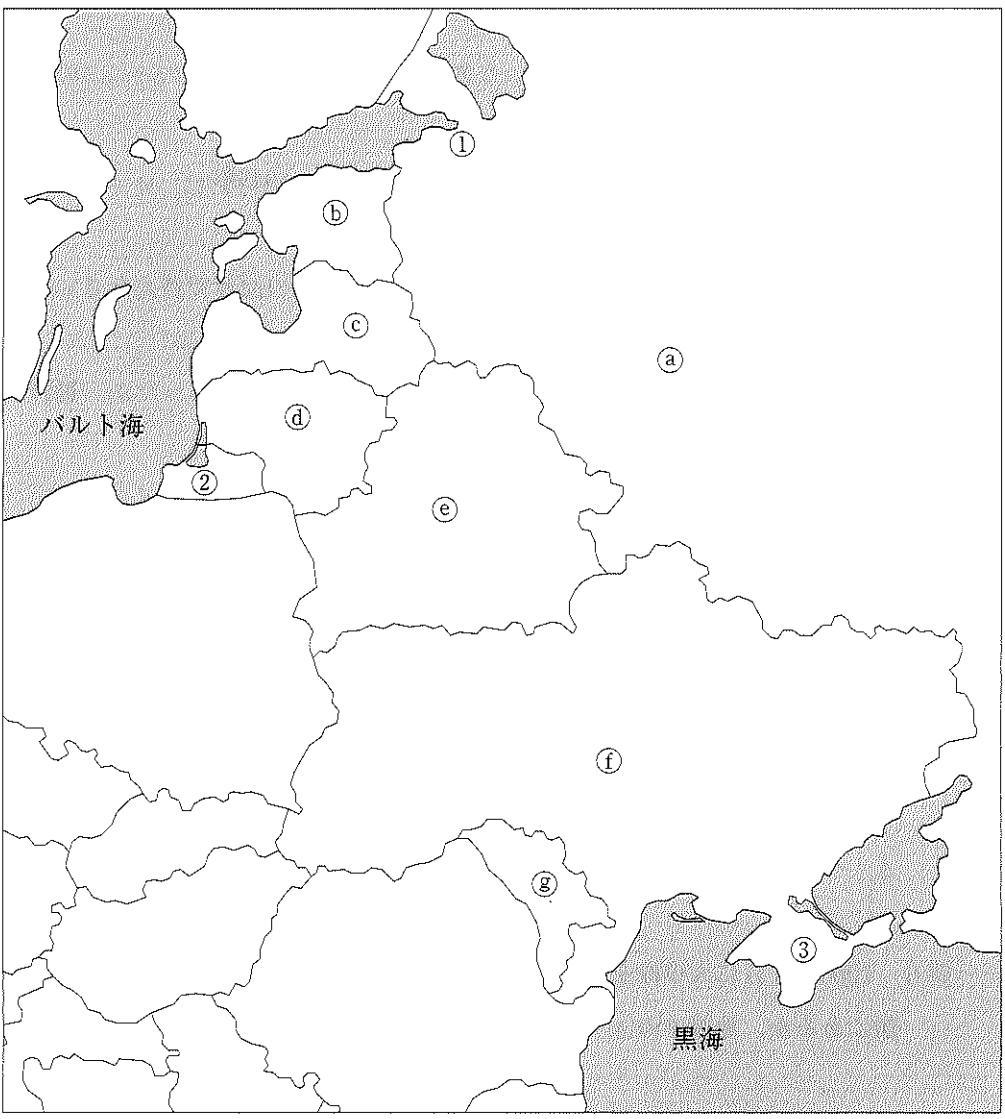
h



②の語群： a フランス    b スペイン    c イラン    d トルコ  
e イギリス

2

設問 I 次に挙げた旧ソ連の西部にあたる地域の現在の地図を見て，問(1～8)に答えなさい。なお，①～⑧は国を，①は都市を，②は地域(領土の一部)を，③は半島を，それぞれ示している。



問1 ロシアが、①の都市を建設することができたのは、北方戦争に勝利したからであるが、この戦争でロシアに敗れた国はどこか、選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a イギリス
- b スウェーデン
- c デンマーク
- d ポーランド
- e プロイセン

問2 ①の都市がペトログラードという名称であった年を選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 1905年
- b 1916年
- c 1929年
- d 1945年
- e 1990年

問3 ②の地域は現在どの国の領土か、地図中の①～⑧の記号で答えなさい。

問4 ②の地域は、第二次世界大戦直前はどこの国の領土であったか、選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a スウェーデン
- b ソ連
- c デンマーク
- d ドイツ
- e ポーランド

問5 ③の半島には、1853～56年にロシア帝国とオスマン帝国とのあいだでおこなわれた戦争で最大の激戦地となった黒海最大の要塞・軍港がある。この要塞・軍港はどれか、選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a オデッサ
- b セヴァストープリ
- c シンフェローポリ
- d ペトロパブロフスク
- e ヤルタ

問6 1986年4月に大事故を起こしたチェルノブイリ原子力発電所は現在どこの国にあるか、地図中の①～⑧の記号で答えなさい。



問7 ソ連解体時に創設された独立国家共同体(CIS)に加盟しなかった国を示す地図中の記号の組み合わせとして正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 「㉑と㉒と㉓」    b 「㉑と㉒と㉓と㉔」    c 「㉒と㉓と㉔」  
d 「㉓と㉔と㉕」    e 「㉓と㉔と㉖と㉕」

問8 地図中の㉑の国名を選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a アルメニア    b エストニア    c モルドヴァ  
d ラトヴィア    e リトアニア

**設問Ⅱ** 次の随想を読んで、以下の問(1～9)に答えなさい。

1855年の日露関係の開始から日清戦争の開始された( 1 )年頃までの日露関係は、非常によかったと言える。ロシア皇帝( 2 )が皇太子時代に来日した( 3 )年は、その絶頂期だった。皇太子は軍艦で長崎に寄港し、上陸して観光を楽しんだが、当時の長崎はロシア東洋艦隊の越冬地で、同地にはロシア人将校・水兵の家があり、日本人妻、使用人、出入り商人など、ロシア語を話す日本人が多くいたからである。同地のロシア人墓地には、ソ連大統領ゴルバチョフが( 4 )年に訪日した際、訪問している。

しかし、日清戦争後、日露関係は悪化する。このとき、急にロシアが悪い国になったわけではないし、ロシア側の事情で反日的になったわけでもない。これは主として日本の新しい動きによる状況の変化である。一般には、遼東半島を清国から奪取した日本に対し、ロシア・ドイツ・フランスの3国が返還を迫り(三国干渉)、日本がそれに従って返還すると、ロシアがそこを租借したことで、日露関係が悪化したとされる。ドイツは遼東半島の対岸の青島(チンタオ)を中国進出の拠点にしていたし、ロシアは満州に東清鉄道敷設権を持っていたから、日本の遼東半島奪取は、ロシア・ドイツ両国にとって、自国權益を脅かすものであった。とくにロシアは東清鉄道南満州支線(のちに日本が取得し南満州鉄道=満鉄となる)を、満州中央部の( 5 )から遼東半島南部の( 6 )および最南端の

( 7 )へと引く計画を持っていて、( 6 )・( 7 )は満州からの物資の積み出し港として重要であったから、その計画を根本から覆すことになる日本の遼東半島奪取は、ロシアにとっては国益に真っ向から反するものであった。それでも日露両国が戦争に一直線に突っ走ったわけではない。ロシアは他の列強諸国同様に日本を見くびっていたこともあって、日本の神経を逆なですることが多かったと思われるが、すすんで日本と戦争をするつもりはなかったし、ほとんどのロシア人は東洋のことには無関心であった。ロシア軍部も補給線が長くなる東洋での戦争は乗り気ではなかった。日本側の事情はまったく違う。ロシアに対する脅威意識が非常に強かったのだ。

こうした状況で仮想敵国ロシアのイメージが日本でつくられていく。戸田(へだ)や長崎での友好の記憶は意図的に消し去られ、「ロシアの南下政策」に対する危機感がおられる。しかし、( 6 )も( 7 )もヨーロッパ・ロシアからあまりに遠く、たとえシベリア鉄道や東清鉄道が全線開通しても、補給線があまりに長く、小さな爆弾一つで爆破されてしまう単線鉄道だけで補給線が支えられる軍港は、戦略的にあまりに脆弱で、あまり期待できないことは明白であった。しかも、当時の( 7 )は、湾口が狭く浅いため、地形的にも軍港には不向きであった。日本は奇襲攻撃という、一の谷や桶狭間では成功した小軍が大軍に勝つための戦法を用いたが、これは結局は成功せず、真珠湾同様にロシアを本気で立ち上がらせ、戦争の拡大と長期化をもたらしたただけであった。日露戦争は、陸戦、海戦とも、正々堂々の正面衝突の戦争だったが、補給線が長いロシアが結局、敗北した。当時の国際社会はイギリスを含めて、アジアに対する蔑視が強かったために、日本の勝利を予想だにできなかったが、客観的に見れば日本の勝利は当然だった。ロシアは日露戦争に敗北したためにアジアにおける戦略状況を客観的に見ることができるようになり、日露戦争後は、日本との同盟関係を選択した。かくして1905～1917年の日露関係は比較的良好で、両国の同盟関係は最終的には事実上の軍事同盟にまで発展した。この軍事同盟の仮想敵国は米国である。しかし、ロシア革命によって帝政が倒れ、最も反帝政に熱心だったボリシェヴィキが政権を奪取したことは、日本の政府指導層にとっては脅威だった。領土的野心もあって、シベリア出兵を開始した日本軍の本当のあわよくばの狙いは、やは

りボリシェヴィキ政権の打倒であったと思われる。しかし、それは果たせず、( 8 )年に日本はソ連を承認することになるが、明治憲法下の天皇制を保持する日本がロシアに対する警戒心を解くことはなく、軍部を中心に再び対露(対ソ)脅威論が復活することになる。

問1 空欄( 1 )に入る年として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 1874    b 1884    c 1894    d 1904    e 1914

問2 空欄( 2 )に入る人物名として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a アレクサンドル1世    b アレクサンドル2世  
c アレクサンドル3世    d ニコライ1世    e ニコライ2世

問3 空欄( 3 )に入る年として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 1856    b 1861    c 1871    d 1891    e 1901

問4 空欄( 4 )に入る年として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 1976    b 1981    c 1986    d 1991    e 1996

問5 空欄( 5 )に入る地名として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 奉天    b 長春    c 瀋陽    d 哈爾浜(ハルビン)    e 遼陽

問6 空欄( 6 )に入る地名として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 威海衛    b 大連    c 青島    d 天津    e 旅順

問7 空欄( 7 )に入る地名として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ  
選びなさい。

- a 威海衛      b 大連      c 青島      d 天津      e 旅順

問8 空欄( 8 )に入る年として正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選  
びなさい。

- a 1920      b 1925      c 1930      d 1935      e 1940

問9 下線部のロシアと日本との同盟関係を規定した条約(協約, 協定)の名称と  
して正しいものを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 日露協約                      b 日露通商協定      c 日露修好条約  
d ペテルブルク協定      e ポーツマス条約

**3** アフリカへのイスラームの浸透に関する次の文章を読んで、問(1～10)に答え  
なさい。

7世紀のアラビア半島に発したイスラームは、第2代正統カリフである  
( 1 )の時代にビザンツ帝国からエジプトを奪い、やがて北アフリカの全域を  
席卷して、8世紀初頭にはイベリア半島に侵入した。支配層であるアラブはミス  
ルと呼ばれる軍営都市を築き、それらは布教の拠点としても機能した。

やがて北アフリカに独自の王朝が成立するようになり、8世紀末には現在のモ  
ロッコにシーア派の( 2 )朝、10世紀初頭に現在の( 3 )にファーティマ朝  
が成立した。ファーティマ朝の支配者はカリフを名乗り、アッバース朝や  
( 4 )朝に対抗した。さらに時代を下ると、先住民であるベルベル人を支配者  
とする王朝が登場するようになり、11世紀に成立したムラービト朝はマラケシュ  
を首都とし、南進して( ア )王国に侵攻し、これを衰亡させた。これとともに  
ニジェール川の流域住民の改宗が進み、後には( イ )王国、次いで( ウ )王  
国がムスリムを支配層とする王朝となった。サハラ東部では( 5 )王国が11世

紀末のセファワ朝初期にムスリムの支配者を戴き、16世紀後半になるとサハラ中部へと勢力を拡大していった。これらの王朝はいずれも( 6 )と岩塩、奴隷などを交易品とするサハラ縦断交易によって富を蓄積し、隊商路の終点である都市トンブクトゥは、西アフリカのイスラーム諸学の中心としても知られた。

(B) 他方、現在のソマリアからモザンビークにかけての東アフリカの海岸地帯(スワヒリ・コースト)では、10世紀頃からイスラームへの改宗が進んだ。彼らの間では( 7 )語とアラビア語等が混じり合って成立したスワヒリ語が共通言語として用いられ、多くの港市が形成された。総計7回にわたる鄭和の南海諸国遠征では、1417年出発の第5次航海の際に分遣隊がマリンディ<sup>(エ)</sup>に到達しており、ヴァスコ＝ダ＝ガマは三度にわたるインドへの航海の途上、キルワ、マリンディ、モンバサ<sup>(オ)</sup>(配列は五十音順による)などに寄港している。17世紀半ばに( 8 )が、( 9 )を拠点にスワヒリ・コーストのほぼ全域を勢力下に置いたことにみられるように、インド洋交易圏<sup>(カ)</sup>の一部としてアラビア半島やインド西岸の各地と結びついてきたこともあって、宗派的な多様性がこの地域の特徴となっている。

ナイル川上流域では、長らくこの地を支配した( エ )王国が、エチオピアから進出した( オ )王国に4世紀に滅ぼされた。後者がキリスト教を受け入れていたこともあり、キリスト教を奉じる複数の国家がこの地にも生まれ、その後ナイル川上流域では、16世紀になるまでムスリムを支配者とする国家は成立しなかった。1880年代にはムハンマド＝アフマドが、「導かれた者」を意味する( 10 )を名乗って反英抵抗闘争を展開し、( 11 )の率いる軍を破ってハルツーム<sup>(C)</sup>を占領したが、この運動に参加するなかでイスラームに改宗する人々も多数現れた。植民地化に対する抵抗運動がイスラームを基軸に展開し、ムスリムの意識を高め、同時に非ムスリムの改宗をも促す例は同じ時期に西アフリカでもしばしば見られ、ギニアの( 12 )やナイジェリア北部のウスマン＝ダン＝フォディオの運動を例として挙げるができる。

問1 空欄(1~12)に入るのもっとも適切なものを、それぞれの選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

- (1) a アリー b ウマル c ウスマーン d アブー=バクル  
(2) a イドリース b サッフアール c トゥールーン  
d ターヒル  
(3) a アルジェリア b リビア c エジプト d チュニジア  
(4) a セルジューク b サーマーン c 後ウマイヤ d ナスル  
(5) a アシャンティ b カネム=ボルヌー c ベニン  
d ブガンダ  
(6) a 乳香 b 金 c 銀 d 皮革  
(7) a バントゥー b ハウサ c フラニ d コプト  
(8) a イエメン b オマーン c オスマン帝国 d カタール  
(9) a ソファラ b モガディシュ c ザンジバル d ナパタ  
(10) a カリフ b マフディー c バーブ d イマーム  
(11) a スタンリー b ウォード c ゴードン  
d リヴィングストーン  
(12) a サモリ=トゥーレ b ムハンマド=アッサヌーシー  
c ハサン=アルバンナ d ルムンバ

問2 空欄(ア~ウ)に入る語の正しい組み合わせを、選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

- a ア:ガーナ イ:ソンガイ ウ:マリ  
b ア:ソンガイ イ:マリ ウ:ガーナ  
c ア:ガーナ イ:マリ ウ:ソンガイ  
d ア:ソンガイ イ:ガーナ ウ:マリ

問3 空欄(エ～オ)に入る語の正しい組み合わせを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a エ：クシュ(メロエ) オ：モノモタパ
- b エ：クシュ(メロエ) オ：アクスム
- c エ：モノモタパ オ：クシュ(メロエ)
- d エ：アクスム オ：クシュ(メロエ)

問4 下線部(あ)の後、北上するイスラームの軍勢をトゥール・ボワティエ間で迎え撃ったのは誰か、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a カール大帝    b カール＝マルテル    c クローヴィス
- d ピピン

問5 下線部(い)ではないのはどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a フスタート    b バスラ    c ティルス    d カイラワーン

問6 下線部(う)が支配層でない王朝はどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a サファヴィー朝    b セルジューク朝    c ファーティマ朝
- d ブワイフ朝

問7 下線部(え)に最初に遠征を命じたのは誰か、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 建文帝    b 永楽帝    c 正統帝    d 宣徳帝

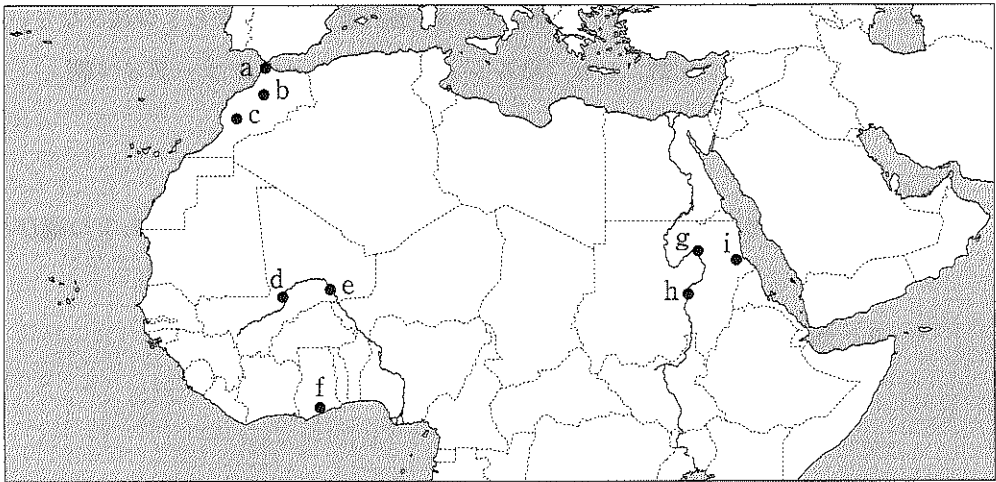
問8 下線部(お)を北から順に並べたときに正しいのはどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a キルワ, モンバサ, マリンディ
- b マリンディ, キルワ, モンバサ
- c キルワ, マリンディ, モンバサ
- d マリンディ, モンバサ, キルワ

問9 下線部(か)でムスリム商人たちが用いた船とその帆の形の組み合わせで正しいのはどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

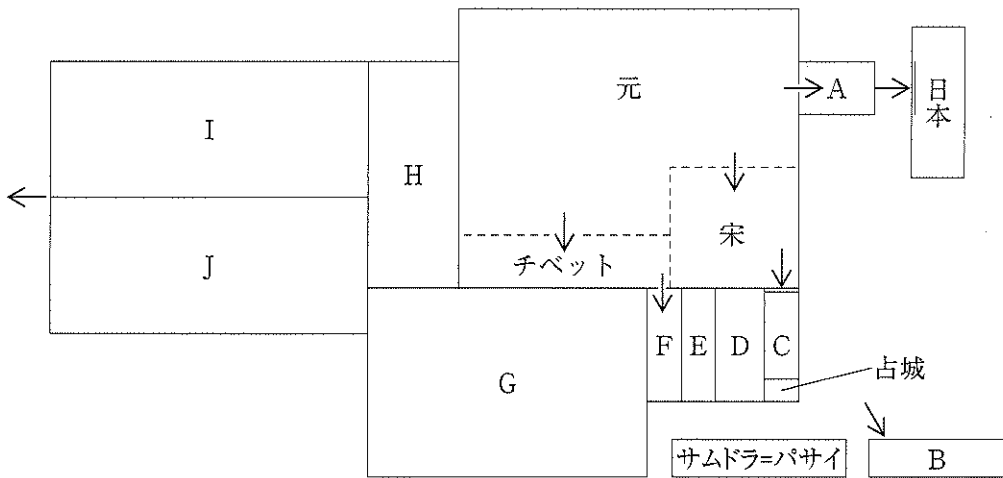
- a カラック船, 三角帆    b カラック船, 横帆    c ダウ船, 三角帆
- d ダウ船, 横帆

問10 二重下線部(A～C)は下の地図上のどれか、選択肢(a～c), (d～f), (g～i)からそれぞれ1つ選びなさい。





- 4 下の図は13世紀アジアの形勢を表した模式図(一部省略)である。この時モンゴル勢力は広大な地域を服属させ、さらに各地に侵出していった。その活動はユーラシア大陸の歴史に重大な影響を与えた。図中の矢印はモンゴルの侵攻を示し、矢印の先が二重線となっている場合は侵攻が失敗したことを表している。また記号(A～J)には国名・王朝名が入る。この地図に関して、以下の問(1～16)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)から1つ選びなさい。



- 問1 この時代、Aでは印刷技術が発達していた。これに関する記述のうち誤っているものはどれか。適するものを選びなさい。
- a この時代に印刷された仏典は高麗版大蔵経とよばれ、現存している。
  - b 高麗版大蔵経の最初の版本はモンゴルの侵入時に焼失した。
  - c 高麗版大蔵経の二回目の印刷はモンゴル退散を祈願した事業であった。
  - d 高麗版大蔵経は金属活字を使って印刷されたものであった。
  - e この時代に使用された金属活字は世界最古と言われる。

問2 モンゴルがAに侵攻した際の状況として正しいものはどれか。もっとも適するものを選びなさい。

- a 李成桂はモンゴルの侵入を防ごうと、激しく抵抗した。
- b モンゴルへの抵抗戦で活躍した軍団が三別抄であった。
- c 李舜臣は水軍を率いて戦い、大きな戦果をあげた。
- d モンゴル軍の侵攻は壬申・丁酉の倭乱とよばれた。
- e モンゴルに抵抗したAの拠点は、都の平壤であった。

問3 ジャワのBはフビライの使者を追い返した。Bの国名ないし王朝名は何か。適するものを選びなさい。

- a シュリーヴィジャヤ王国      b シンガサリ朝
- c シャイレンドラ朝              d クディリ朝      e マジャパヒト王国

問4 C王朝は三度にわたって元を撃退したが、この王朝に関する下の記述のうち正しいものはどれか。もっとも適するものを選びなさい。

- a ベトナム北部に成立した最初の長期政権で、都はサイゴンである。
- b この時代に、漢字をもとにした独自の文字である字喃が作られた。
- c モンゴルを撃退した一方で、大理と占城の大部分を占領した。
- d メコン川下流域を支配の拠点とし、交易の利益によって繁栄した。
- e 東南アジアの有力な港市国家の一つとして知られている。

問5 Cの王朝名は何か。適するものを選びなさい。適するものがない場合はeを選びなさい。

- a 李朝      b 陳朝      c 黎朝      d 阮朝

問6 Dの王朝名は何か。適するものを選びなさい。適するものがない場合はeを選びなさい。

- a パンディヤ朝      b クシャーナ朝      c マウリヤ朝
- d アンコール朝

問7 12～13世紀にかけてD王朝の繁栄期をもたらした王は誰か。適する王を選びなさい。

- a ジャヤヴァルマン7世      b メフメト2世      c セリム1世  
d イスマーイール1世      e ハルシャ＝ヴァルダナ

問8 E王朝は13世紀半ばに成立したが、この王朝に関する下の記述のうち正しいものはどれか。もっとも適するものを選びなさい。

- a インドシナ半島で最初のクメール人の王朝である。  
b 都は北部のスコタイにおかれた。  
c 林邑に従属していた諸小国が自立して建てた。  
d チベット仏教を国教と定めていた。  
e 15世紀にコンバウン朝に従属することとなった。

問9 F王朝は元の侵入によって滅ぼされたが、その王朝名は何か。適するものを選びなさい。適するものがない場合はeを選びなさい。

- a アユタヤ朝      b パガン朝      c ラタナコーシン朝  
d トウンゲー朝

問10 F王朝に関する下の記述のうち誤っているものはどれか。適するものを選びなさい。

- a ビルマ族による最初の統一王朝である。  
b イラワディ川流域を主要な支配地域としていた。  
c メコン川下流のバンコクを首都としていた。  
d 元に滅ぼされたのち、この一帯では政治的混乱が続いた。  
e 上座部仏教を取り入れて、仏教文化が栄えていた。

問11 G王朝に関する下の記述のうち誤っているものはどれか。適するものを選びなさい。

- a インド最初のイスラーム王朝である。
- b 建国したのは、ゴール朝の武将であったアイバクである。
- c G王朝を含めて、以後の5王朝はデリー＝スルタン朝とよばれた。
- d G王朝の三人のスルタンはクシャトリヤ出身であった。
- e G王朝を倒したのはハルジー朝であった。

問12 H・I・J王朝はモンゴル族が建国した。H王朝に関する次の記述のうち誤っているものはどれか。適するものを選びなさい。

- a チャガタイがカラコルムを都として建国した。
- b イリ川からシル川流域に支配地域を置いていた。
- c 14世紀にイスラーム化した。
- d オゴタイ系の勢力を併合した。
- e のちに東西に分裂したが、その一方からティムールが台頭した。

問13 Iの国名は何か。適するものを選びなさい。適するものがない場合はeを選びなさい。

- a オゴタイ＝ハン国      b キプチャク＝ハン国      c イル＝ハン国
- d カザン＝ハン国

問14 I王朝に関する次の記述のうち誤っているものはどれか。適するものを選びなさい。

- a チンギス＝ハンの孫であるバトゥが西方遠征の帰途に建国した。
- b 南ロシアを主要な支配領域としていた。
- c モンゴルが建てた諸国の中では早期にイスラーム化が進んだ国である。
- d 16世紀初頭、キエフ公国の成立を契機にして崩壊した。
- e 都はヴォルガ川流域のサライに置かれた。

問15 J 王朝に関する次の記述のうち誤っているものはどれか。適するものを選びなさい。

- a チンギス=ハンの孫であるフラグが建国した。
- b 元王朝とは友好関係にあり，I 王朝とは対立関係にあった。
- c 第7代のガザン=ハンはイスラーム教を弾圧した。
- d イラン人のラシード=アッディーンが宰相として活躍した。
- e イクター制を採用し，地租中心の税制を確立した。

問16 西方に進出したモンゴル軍は，ワールシュタットの戦いで勝利をおさめたが，結局は撤退を余儀なくされた。その原因は何であったと考えられているか。もっとも適するものを選びなさい。

- a ペストの流行
- b 物資補給路の途絶
- c ハイドゥの反乱
- d オゴタイ=ハンの病死
- e 大規模な自然災害の発生